

MAKING

ART

MADは“現代アートの学校”です。  
キュレーション・プラクティス(実践)／キュレーション・ベーシック(基礎)  
アート+コミュニケーション／アーティスト／マガジンの基本5コース  
コース・ディレクター=小澤慶介(AIT)／ロジャー・マクドナルド(AIT)  
講師(敬称略・50音順)=秋元雄史(金沢21世紀美術館 館長)  
飯田志保子(東京オペラシティアートギャラリー キュレーター)／石井孝之(タカ・インイギャラリー 代表)  
江澤健一郎(立教大学 非常勤講師)／遠藤水城(アーカス・プロジェクト ディレクター)  
逢坂恵理子(森美術館 アーティスティック・ディレクター)／木奥恵三(フォトグラファー)

DIFFERENT

NTSCH

OOLOO

ORGANIZED BY  
ARTS INITIATIVE TOKYO



CONTEMP

PORARY

ART

北川フラム(アートフロントギャラリー 主宰／地中美術館 総合ディレクター／新潟市美術館 館長)  
郷泰典(東京都現代美術館 教育普及係 学芸員)／古平正義(アートディレクター)／塩見有子(AIT)  
杉田敦(美術批評家／女子美術大学 准教授)／オルタナティブ・スペース art & riverbank ディレクター)  
鈴木明(建築家)／住友文彦(AIT)／崔敬華(フリーランス・キュレーター)  
辻憲行(フリーランス・キュレーター／翻訳家)／中村政人(美術家)／永吉文子(SCAI THE BATHHOUSE)  
名和晃平(アーティスト)／西川美穂子(東京都現代美術館 学芸員)  
藤城里香(無人島プロダクション 代表)／帆足亜紀(アート・コーディネーター)／堀内奈穂子(AIT)  
南島宏(女子美術大学 教授)／宮崎香菜(BT/美術手帖 編集部)／毛利嘉孝(東京藝術大学 准教授)  
柳下朋子(ART IT 編集部)／森弘治(アーティスト)／吉本光宏(ニッセイ基礎研究所)



「見て、感じる」から一歩先へ——現代アートの「なぜ、この表現？」を、美術史や歴史、社会の仕組み、経済の動き、現代という時代性から、共に考えてみよう。5つの基本コースと現代を読み解く32のフリー・ブロック(選択講座)で、現代アートと刻々と変化する複雑な世界とのつながりを見つけよう。

MAD (Making Art Different = アートを変えよう、違った角度で見てみよう)は、NPO法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]が2001年に開講した、現代アートの教育プログラムです。2009年度のMADは、国内外の美術制度の変化やそれに関する議論を取り上げるほか、市民の手によって立ち上がる草の根的なアートの運動にも注目します。キュレーターやギャラリスト、アーティスト、評論家などの専門家を迎え、国内だけでなく、広くアジア諸国・地域あるいは欧米で注目されている現代アートの実践や現象を、美術史や社会学、哲学思想をたよりに、より多角的に、深く、体系的に捉えて考察します。5つの基本コースは、初めて現代アートに触れる人から専門的に学びたい人まで、アートを巡るさまざまな知的好奇心に応えるプログラムです。受講生は、各コースの必修レクチャーのほかに、フリー・ブロックとよばれる選択講座から指定された数の講座を受講することができます。レクチャーは、すべてAITルーム(代官山)で行われます。

## キュレーション・プラクティス(実践) “自分たちで、展覧会を作る”

今日におけるキュレーション(展覧会の企画・制作)の可能性と問題点について、美術史や社会学、哲学思想などをたよりに、広く議論・考察する。その上で、グループごとに展覧会や調査研究の企画立案を行い、チューターのアドバイスを受けながら実現することを目的とする。活動資金が支給され、テーマや形式の設定、アーティストの選択から予算組み、運営まで、キュレーションに関する必要不可欠な作業を総合的に経験する。

2009年4月開講/12ヶ月コース/定員12人/¥229,950(税・諸費用込)

## キュレーション・ベーシック(基礎) “自分のペースで、現代アートと時代の関係を読み解く”

キュレーションの理論や歴史などの基礎を学び、社会学や哲学思想などをたよりに、キュレーションと時代あるいは社会との関係性について、個人あるいはグループで研究し、コース内で発表する。受講生は、時事性のあるテーマや美術史、アーティストに対する新しい解釈、また、文学や建築、社会学など他の学問分野と現代アートとの関係性など、自由に研究テーマを設定することができる。

2009年4月開講/12ヶ月コース/定員20人/¥201,600(税・諸費用込)

## アート+コミュニケーション “現代アートと社会をつなぐ”

前期の「美術史編」では、絵画や写真、映像などのテーマ別に20世紀の美術史の基礎知識を身につけ、後期の「公共と美術編」では、日本国内における美術を取り巻く状況と実践を考察し、知識としての美術と生活が行われている社会とをつなぐ可能性を探る。また、東京都現代美術館においてワークショップを行い、アートの現場を体験する。「美術史編」のみ、「公共と美術編」のみ、あるいは両方の3パターンで受講可。

2009年4月(「美術史編」)・9月(「公共と美術編」)開講/各4ヶ月コース/定員各20人/各期¥79,800(税・諸費用込)

## アーティスト “「アーティスト」として生きる”

作品を制作している人を対象としたコース。「美術界の仕組み」や「現代の視覚文化」などについてのレクチャーと、キュレーターや美術評論家をゲストに交えて行う模擬プレゼンテーションをおし、制作から発表までの活動を支えるために最低限必要とされる知識や理論、またプレゼンテーション・スキルを学ぶ。

2009年4月・9月・2010年1月開講/各3ヶ月コース/定員各12人/¥38,850(税・諸費用込)

## マガジン “世界のアートシーンの今を読む”

海外のアート雑誌やウェブの英文記事を読み、コース・ディレクターや受講生がお互いの考えを出し合い、話し合うことで、世界各地で展開する現代アートを読み解く。アート・マーケットの情報や、現代アートを巡る新たな議論や視点に関する記事で、国内の美術雑誌ではなかなか触れることのできないアートの一面に迫る。

2009年4月・9月・2010年1月開講/各3ヶ月コース/定員各12人/¥36,750(税・諸費用込)

### 集中講座

短期間に特定のテーマについて専門的な知識を習得したい方を対象としたコース。2009年度は、「アジアにおけるキュレーターの可能性」、「アート・マーケットの現在」、「オルタナティブなキュレーション」、「環境をアートで考える」、「マルチチュードと社会変革」、「初めての現代アート」、「20世紀の絵画史」、「英語で考える21世紀の現代アート」をテーマに、8講座を開講。(フリー・ブロックの受講は不可。各講座の詳細はホームページで発表。)

### MAD2009 無料説明会「MADオープンデー」

各コースの概要説明後、質問を受け付けます。クラス見学会は行っておりませんので、この機会をご利用ください。

開催日時:2009年1月30日(金)19:00~20:30/2009年2月20日(金)19:00~20:30/2009年3月6日(金)19:00~20:30

### MAD2009 資料請求・お問い合わせ/「MADオープンデー」のお申し込み

件名を「MAD2009資料請求」あるいは「MADオープンデー参加希望」とし、住所、氏名、電話番号、関心のあるコース名を明記したメールを、office@a-i-t.netまでお送りください。資料をご請求の方には、後日、プログラムの詳細が掲載されているリーフレットとお申し込み用紙をお送りします。www.a-i-t.netでも詳細をご確認いただけます。

Arts Initiative Tokyo [AIT/エイト]とは?

AITは、キュレーターやアート・オーガナイザー6名が、現代アートと視覚文化を考えるための場作りを目的として、2002年に設立したNPO団体です。個人や企業、財団あるいは行政と連携しながら、現代アートの複雑さや多様さ、驚きや楽しみを伝え、それらの背景にある文化について話し合う場をさまざまなプログラムをとおして創り出しています。



特定非営利活動法人アーツイニシアティヴトウキョウ[AIT/エイト]

150-0033 東京都渋谷区猿楽町30-3 ツインビル代官山A-502 E-mail: office@a-i-t.net Tel: 03-5489-7277 Fax: 03-3780-0266 http://www.a-i-t.net